

富岡町 橋梁長寿命化修繕計画



汐橋

福島県双葉郡富岡町

一 目 次

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	一国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針	5	2. 計画期間
(・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)		
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針	7	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
(・費用の縮減に関する具体的な方針)		
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期	14	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
(・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)		
6. 長寿命化修繕計画による効果	14	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	15	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期	16
--	----

III. 優先順位一覧表	18
--------------	----

改訂履歴	19
------	----

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 富岡町の現状

福島県浜通りのほぼ中央に位置する人口11,709人（2023年3月1日現在）面積68.39平方kmの富岡町は、西側に大倉山等が連なる阿武隈山地、東側は太平洋に面した平野となっており、山地から東に流下する富岡川沿いに市街地が形成されています。町の気象は年間降水量約1,500mm、平均気温約14°Cと比較的温暖な気候となっています。

町は2011年3月に発生した原発事故の影響により、一部が帰還困難区域に指定されましたが、2017年に北東部を除き避難指示が解除されました。また2018年3月には夜ノ森・大菅地区が特定復興再生拠点区域に認定され、早期解除に向けて道路や上下水道などのインフラ整備が行われています。

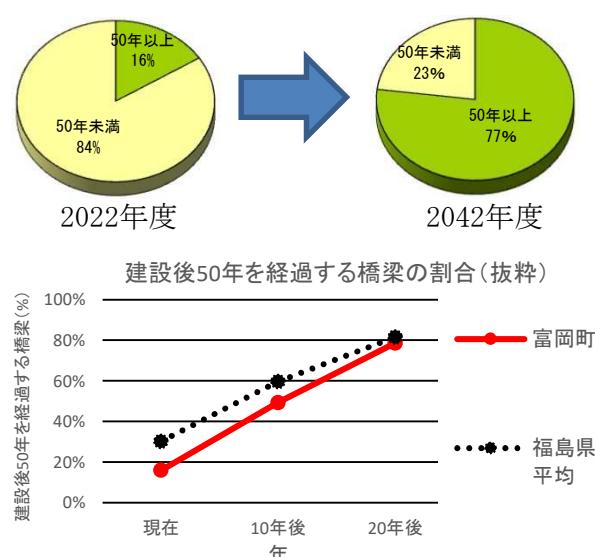
町内には国道6号といわき浪江線など9本の国道や、南北には常磐自動車道及びJR常磐線が通っており、総延長182.71kmの町道は国県道に通じる生活道路などとして利用されています。

町の管理する橋梁は75橋ありますが、国道6号・常磐自動車道・JR常磐線を跨ぐ橋梁や、100m以上の長大橋など重要度の高い橋梁を10橋有していることが特徴となっています。

2) 背景

富岡町の管理する橋梁75橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約16%ですが、10年後の2032年には48%、20年後の2042年には77%に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



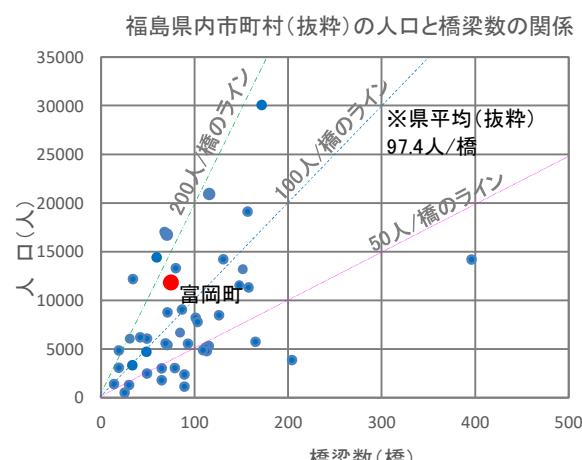
福島県内市町村位置図



近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
富岡町	68.39	11709	171	75	1.1	156
大熊町	78.71	9984	127	61	0.8	164
双葉町	51.42	5527	107	101	2.0	55
楢葉町	103.64	6610	64	85	0.8	78

人口は2023年現在

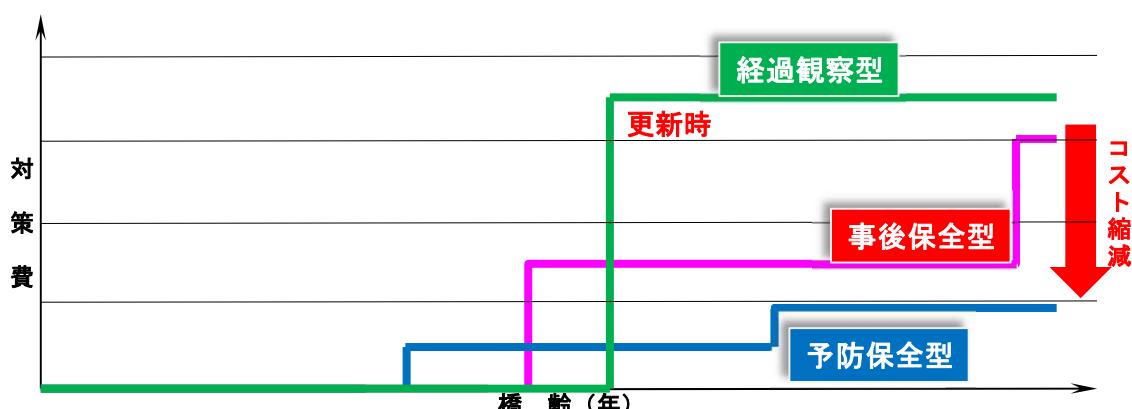
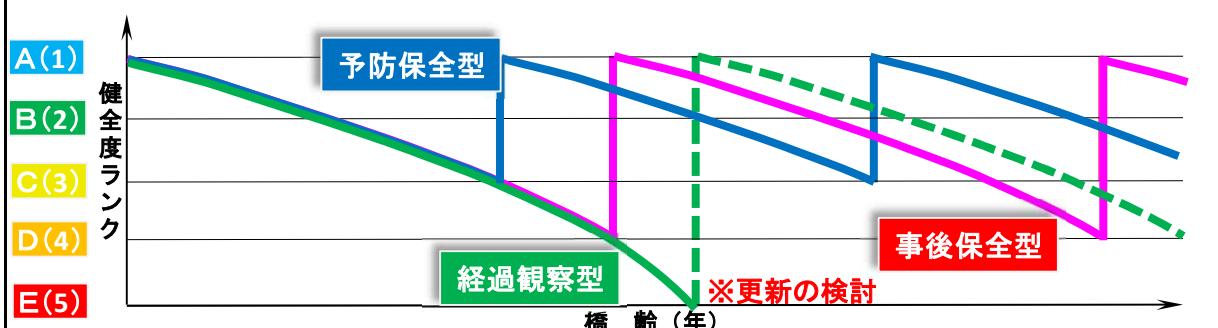


3) 目的

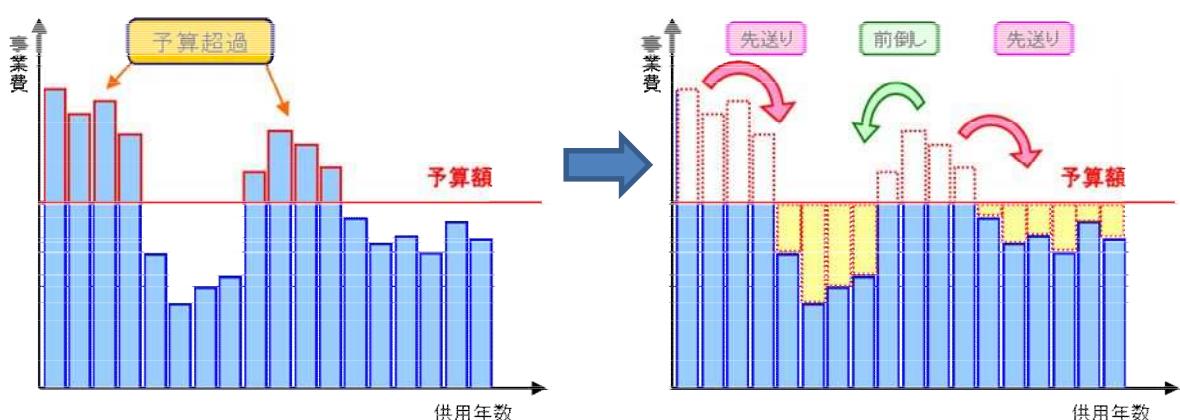
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないよう長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで富岡町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ



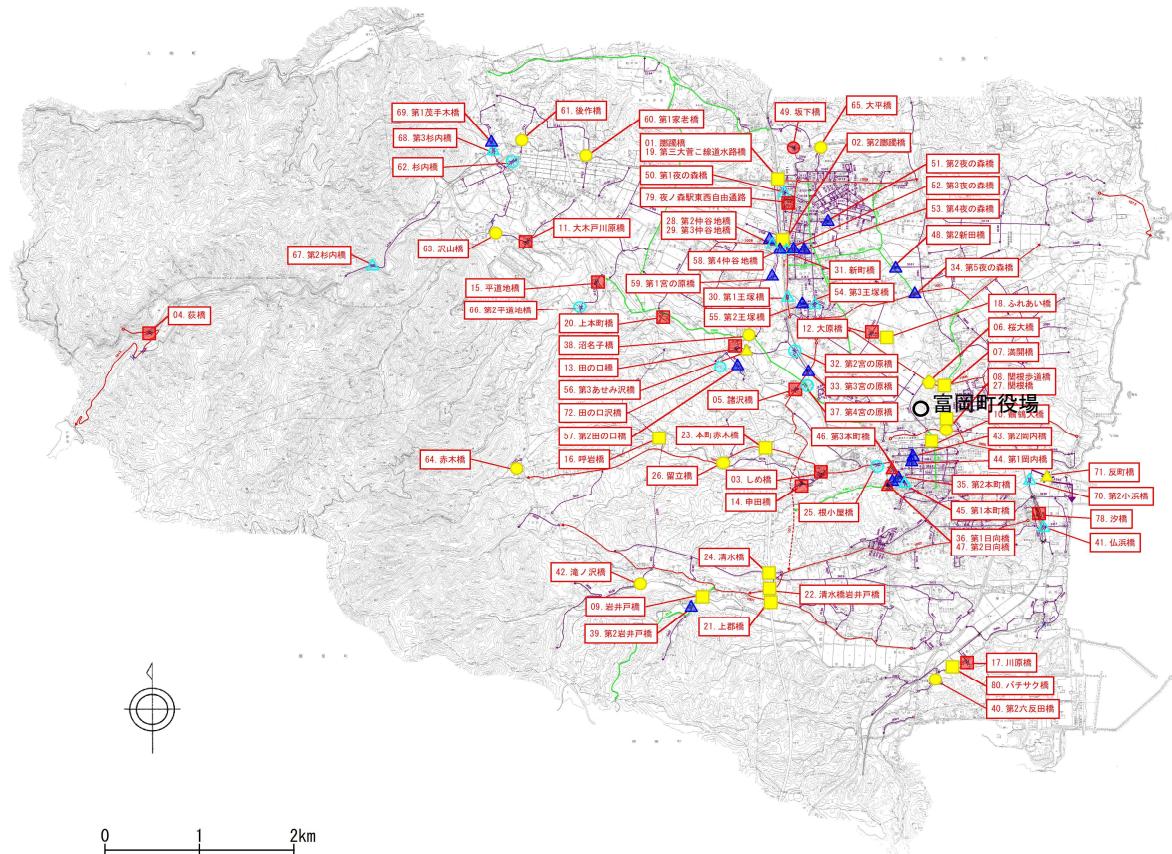
予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

(1. 対象施設)

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	21	7	47	75
うち計画の対象橋梁数	21	7	47	75
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち2022年度計画策定橋梁数	21	7	47	75

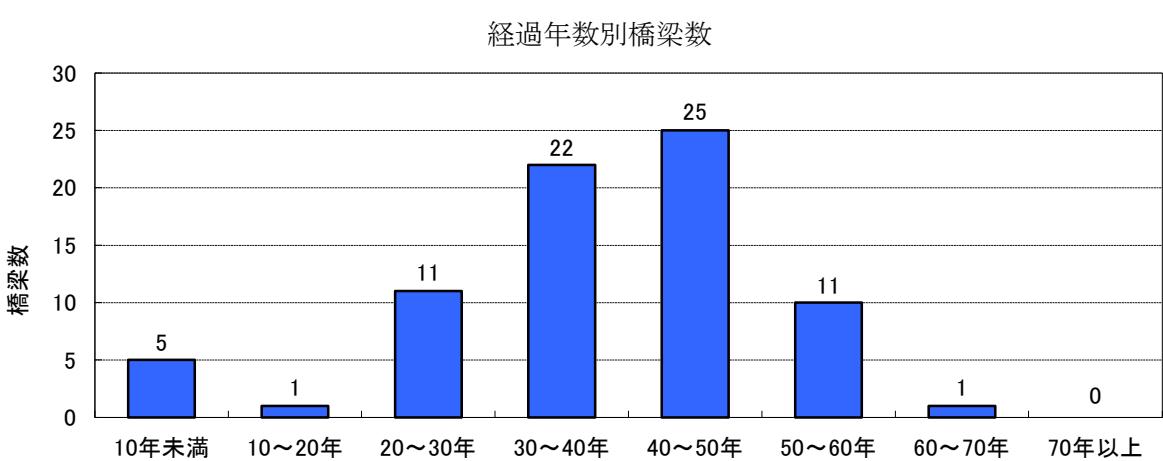
長寿命化修繕計画の対象：富岡町が管理する橋長2.0m以上の橋梁全75橋を対象とします。



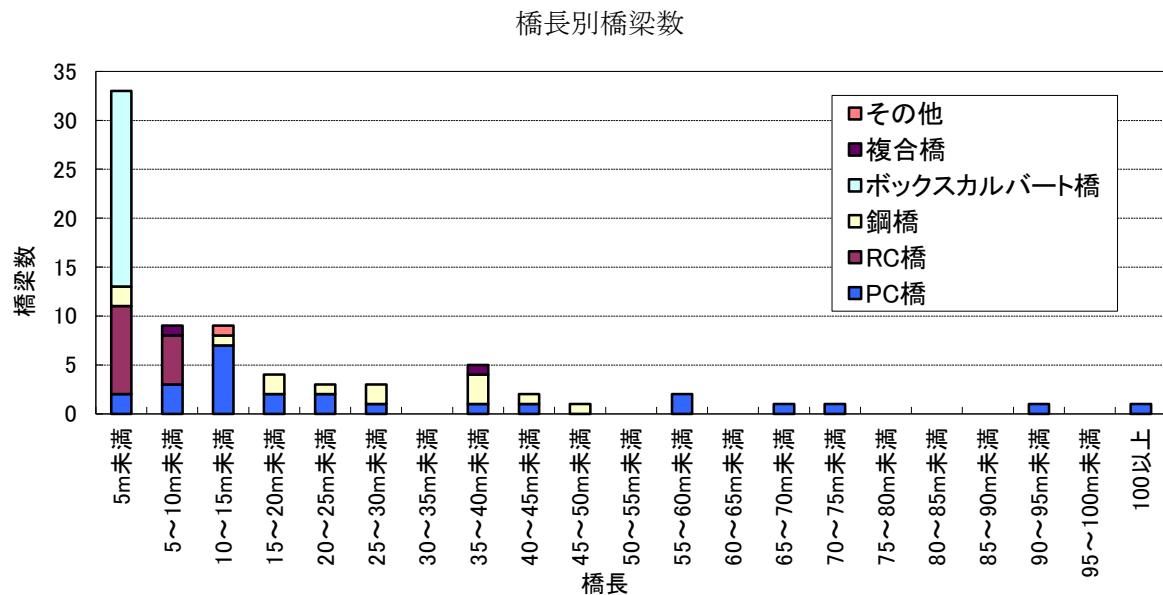
凡 例

橋種 橋長	鋼 橋	P C 橋	R C 橋	BOX その他
5m 未満	▲	△	△	△
14.5m 未満	●	○	○	○
100m 未満	■	□	□	□
100m 以上	◆	◆	◆	◆

対象橋梁位置図

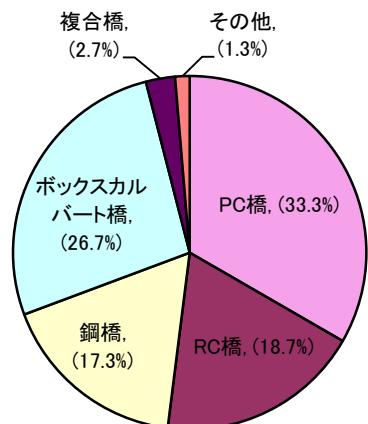


長寿命化修繕計画で対象としている75橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は12橋あり、全体の16%を占めています。



長寿命化修繕計画で対象としている75橋のうち、10m未満の橋梁が42橋あり全体の56%を占めています。一方、30m以上の橋梁は14橋あり全体の19%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



上部工使用材料別ではPC橋が25橋で全体の約33.3%、RC橋が14橋、ボックスカルバート橋が20橋でコンクリート橋が全体の79%を占めています。鋼橋は13橋（17.3%）となっています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (2. 計画期間)

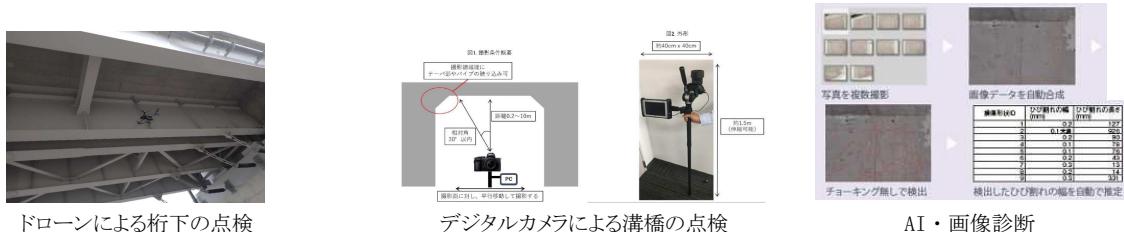
1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成31年2月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(新技術等の活用方針・新技術等の活用に関する短期的な数値目標)

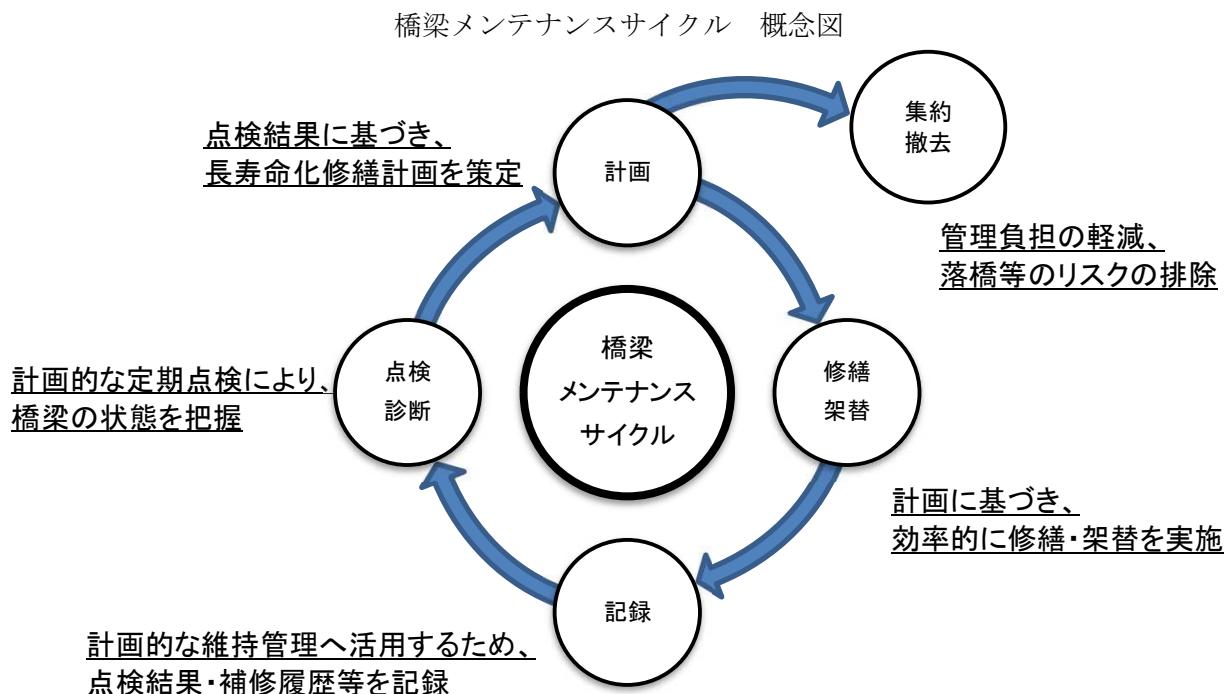
定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム（N E T I S）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めています。その他、令和10年までの5年間で実施する点検時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用し、7万円/橋程度のコスト縮減を目指します。



橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水枠清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

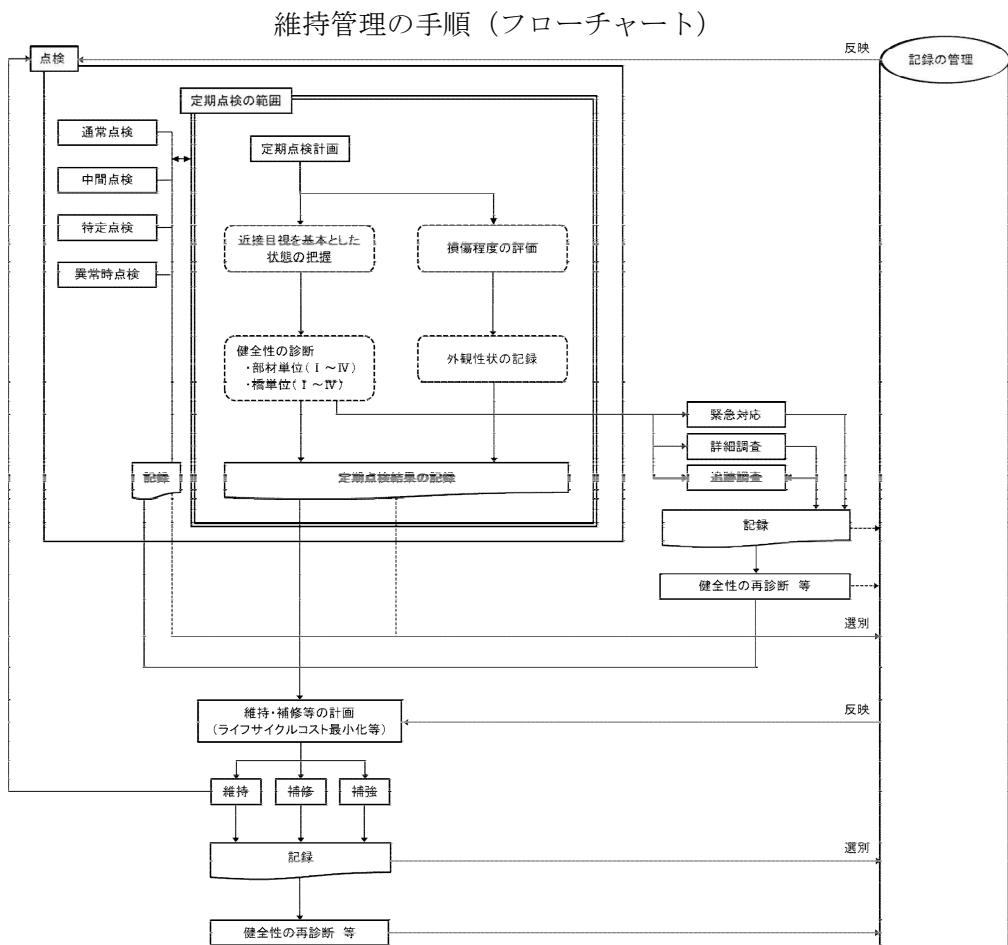


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。 （計画期間：2023年～2072年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突然に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時に行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 (3. 対策の優先順位の考え方)

富岡町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の77%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎ることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿 命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面洗浄	桁洗浄
S 本格予防保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度（※1） 該当3つ	健全度ランクD（4） にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD（4） にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE（5） にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE（5） になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備 考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1.2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水樹の 清掃及び苔座面の堆積土砂 除去を実施（費用は計上せ ず） ※3橋梁点検費用は計上	※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回		

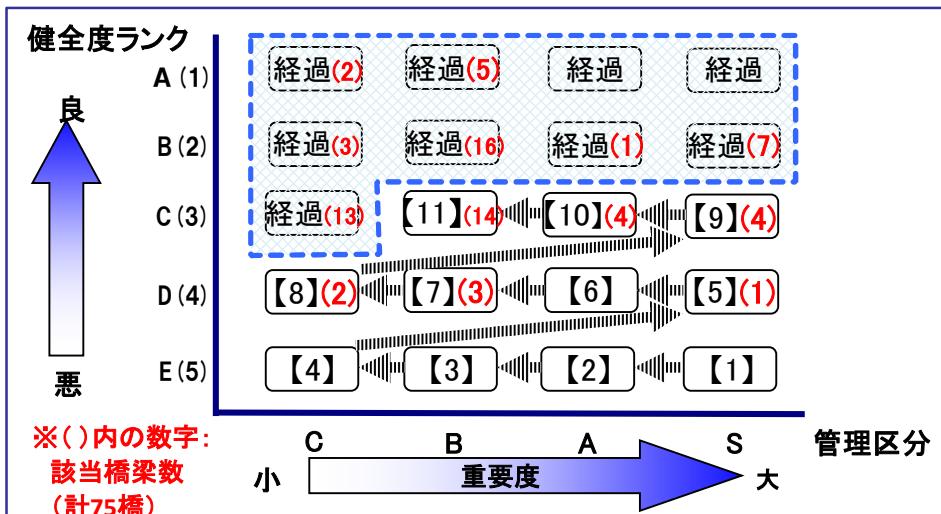
（・費用の縮減に関する具体的な方針）

富岡町の管理橋梁の中で、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となつた時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）や横断暗渠等への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めます。

※検討橋梁：[50. 第1夜ノ森橋](#)、[54. 第3王塚橋](#)、[41. 仏浜橋](#)（3橋を管理外とすることにより、維持管理費用が50年間で約0.4億円削減可能）

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (4. 個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

富岡町は令和元年度～令和4年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧 (判定区分[II]、健全度ランク[C(3)]以上を抜粋：計41橋/75橋)

管理番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	前回健全度区分	今回健全度区分	今回健全度ランク	部材種別	適用
0007	満開橋	55.30	3	PC橋	プレテンT桁	7.50	1992	31	II	III	D(4)	横桁	剥離・鉄筋露出、うき、定着部の異常
0030	第1王塚橋	3.75	1	RC橋	RC 中実床版	6.60	1980	43	III	III	D(4)	下部工	ひびわれ、うき、変形・欠損
0054	第3王塚橋	2.45	2	RC橋	RC 中実床版	6.80	1993	30	III	III	D(4)	頂版	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0065	大平橋	13.05	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1985	38	III	III	D(4)	横桁	漏水・遊離石灰、定着部の機能障害
0050	第1夜の森橋	2.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1975	48	III	III	D(4)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0053	第4夜の森橋	2.37	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.65	1991	32	III	III	D(4)	頂版、側壁	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0006	桜大橋	133.00	4	PC橋	ボステンT桁	7.50	1991	32	II	II	C(3)	横桁、床版、下部工	変形・欠損、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0001	躑躅橋	36.90	3	PC橋	PC 床版橋その他	7.00	1967	56	III	II	C(3)	横桁	うき(漏水)
0024	清水橋	74.44	3	PC橋	ラーメン橋	7.50	2002	21	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0010	鶴鶴大橋	92.91	4	PC橋	プレテンT桁	7.00	1989	34	II	II	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0029	第3仲谷地橋	2.70	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1980	43	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ
0005	諸済橋	44.95	2	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	3.00	1973	50	II	II	C(3)	主桁、横桁、下部工	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0026	留立橋	12.54	1	PC橋	プレテンT床版	8.00	1983	40	II	II	C(3)	主桁、床版	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0060	第1家老橋	9.25	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1984	39	II	II	C(3)	主桁、床版	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0034	第5夜の森橋	2.76	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	1990	33	II	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、うき、変形・欠損、
0003	しめ橋	21.97	1	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	7.00	1978	45	II	II	C(3)	主桁、床版	遊間の異常、剥離・鉄筋露出
0025	根小屋橋	8.60	2	RC橋	RC 中実床版	6.00	1977	46	II	II	C(3)	主桁、横桁、床版、下部工	腐食、防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0040	第2六反田橋	12.24	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.70	1984	39	II	II	C(3)	主桁、床版、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰、漏水・滲水
0016	呼岩橋	24.50	1	PC橋	ボステンT桁	7.50	1986	37	III	II	C(3)	主桁、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0036	第1日向橋	2.37	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.33	1987	36	II	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0014	申田橋	15.09	1	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	3.50	1979	44	II	II	C(3)	床版	剥離・鉄筋露出
0063	沢山橋	7.35	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1984	39	II	II	C(3)	主桁	剥離・鉄筋露出
0033	第3宮の原橋	2.60	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	1993	30	II	II	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ、うき、漏水・遊離石灰、変形・欠損、その他
0062	杉内橋	5.13	1	RC橋	RC 中実床版	2.93	1980	43	II	II	C(3)	下部工	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0038	沼名子橋	10.54	1	PC橋	プレテンT桁	7.75	1982	41	III	II	C(3)	下部工	洗堀
0035	第2本町橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.68	1987	36	III	II	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ、うき、漏水・遊離石灰、変形・欠損、その他
0018	ふれあい橋	19.00	1	PC橋	プレテンT桁	7.50	1998	25	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0017	川原橋	25.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1987	36	II	II	C(3)	主桁、横桁、床版	腐食、防食機能の劣化
0071	反町橋	3.20	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	2008	15	II	II	C(3)	頂版、側壁、底版、舗装	剥離・異常、沈下・移動・傾斜、変形・欠損、舗装の異常
0070	第2小浜橋	2.46	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1975	48	II	II	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0051	第2夜の森橋	2.80	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1980	43	II	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、変色・劣化
0056	第3あせみ沢橋	4.86	1	RC橋	RC 中実床版	4.54	1983	40	II	II	C(3)	床版、下部工	定着部の異常、変形・欠損
0048	第2新田橋	2.76	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1998	25	II	II	C(3)	頂版、側壁	うき、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0057	第2田の口橋	2.90	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1998	25	II	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、変形・欠損、剥離・鉄筋露出、うき
0058	第4仲谷地橋	2.50	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1998	25	II	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、変形・欠損、その他
0059	第1宮の原橋	3.48	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	2.14	1998	25	II	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、うき、剥離・鉄筋露出、変形・欠損
0055	第2王塚橋	2.08	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.75	1984	39	II	II	C(3)	頂版	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0047	第2日向橋	4.75	1	鋼溶接橋	桁(不明)	3.90	1965	58	III	II	C(3)	下部工	変形・欠損
0041	仏浜橋	2.02	1	RC橋	RC 中実床版	6.50	1975	48	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、変形・欠損
0046	第3本町橋	4.22	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.48	1965	58	III	II	C(3)	主桁、下部工	遊間の異常、ひびわれ
0052	第3夜の森橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1975	48	II	II	C(3)	側壁	変形・欠損

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係 (計75橋)

区分	状態	健全度ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A (1)	健全	損傷が認められない	7橋	9%
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B (2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	27橋	36%
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C (3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	35橋	47%
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	D (4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	6橋	8%
		E (5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

4) 主要部材の損傷状況 (4. 個別施設の状態等)

4-1) 主要部材の損傷写真： 判定区分[Ⅲ]・健全度[D(4)]の橋梁 (1)



橋梁右側



中間横桁PC定着部の剥離、うき

7. 満開橋：プレテンT桁橋、橋長:55.30m、3径間、1992年竣工(31年経過)

1級町道北郷会沢線(迂回路有り)、跨道橋。

中間横桁PC定着部後打ちコンクリートのうき。

跨道橋であり、第三者被害へと進展する可能性が高い(判定区分「Ⅲ」)。

令和6年度対策工事実施予定。



橋梁右側



下部工前面の欠損

30. 第1王塚橋：RC中実床版橋、橋長:3.75m、1径間、1980年竣工(31年経過)

1級町道都市計画4号線(迂回路有り)。

下部工前面の著しい断面欠損。

鉛直支持機能の低下が推測される(判定区分[Ⅲ])。

令和6年度対策工事実施予定。



橋梁右側



下部工前面の欠損

54. 第3王塚橋：RC中実床版、橋長:2.45m、2径間、1993年竣工(30年経過)

町道大原原線(迂回路有り)。バス路線。

下部工前面に流水による摩耗と推定される欠損。

鉛直支持機能の低下が推測される(判定区分[Ⅲ])。

令和7年度対策工事実施予定。

4) 主要部材の損傷状況 (4. 個別施設の状態等)

4-2) 主要部材の損傷写真： 判定区分[Ⅲ]・健全度[D(4)]の橋梁 (2)



橋梁右側



端横桁PC定着部の遊離石灰（錆汁伴う）

65. 大平橋：プレテンT桁橋、橋長:13.05m、1径間、1985竣工(38年経過)

町道大菅石名坂線(迂回路有り)

端横桁PC定着部に錆汁を伴った遊離石灰の析出。

内部鋼材の腐食の進行は耐荷力の低下に繋がる(判定区分[Ⅲ])。

令和7年度対策工事実施予定。



橋梁右側



側壁の水平方向ひびわれ(遊離石灰を伴う)

50. 第1夜の森橋：RC中実床版橋、橋長:2.50m、1径間、1975年竣工(48年経過)

町道岡内区画街路13号線(迂回路有り)

側壁に遊離石灰を伴った水平方向ひびわれ。

内部鉄筋の腐食の進行は耐荷力の低下に影響する(判定区分[Ⅲ])。

令和7年度対策工事実施予定。



橋梁右側



側壁の遊離石灰(錆汁混入)を伴うひびわれ

53. 第4夜の森橋：ボックスカルバート橋、橋長:2.37m、1径間、1991年竣工(32年経過)

町道岡内区画街路39号線(迂回路有り)

側壁に一部錆汁を伴った遊離石灰・ひびわれ。

内部鉄筋の腐食の進行は耐荷力の低下に影響する(判定区分[Ⅲ])。

令和7年度対策工事実施予定。

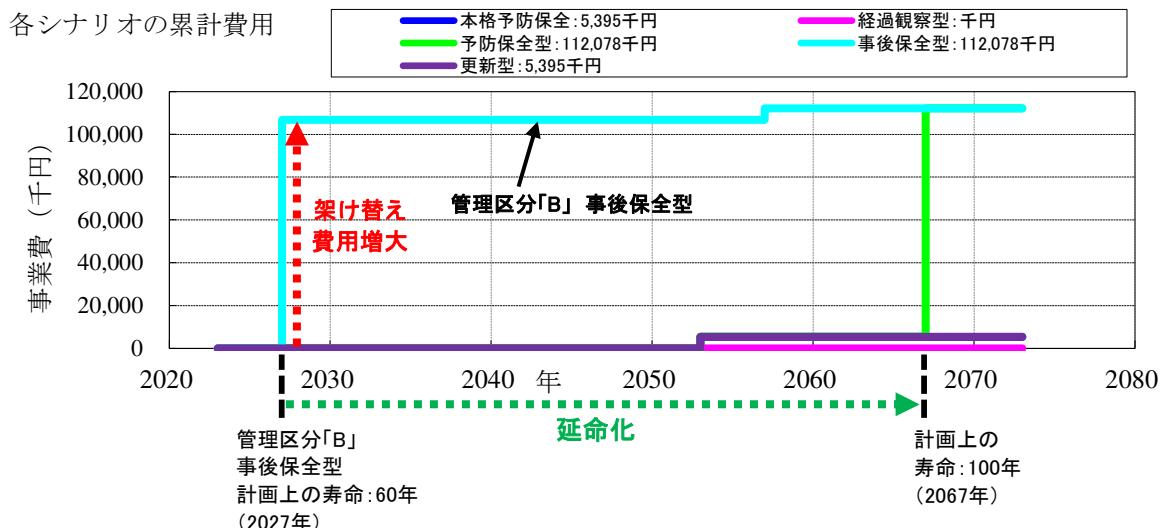
5) 長寿命化修繕計画上の寿命設定について

管理区分[B]（事後保全型）の橋梁は、管理区分設定の条件となる重要度指標項目が0または1つである橋梁と定義し、計画上の寿命設定（計画寿命）を60年としています。

富岡町で令和4年度までに補修工事を行った橋梁は、跨線橋を除いて管理区分が[B]であり、下の12. 大原橋の例のように、計画寿命を迎える時期に架け替えが必要となり費用が増大します。しかし、これらの橋梁は補修により健全度は[A]ないし[B]であり、当面供用は可能と考えられるため、補修済の橋梁は計画上の寿命を100年としました。

12. 大原橋の事業費の推移

鋼H桁橋、橋長:17.35m、1967年竣工(56年経過)、管理区分[B]、判定区分[I(A)]



6) 管理区分の変更について

10. 鶴鶴大橋は町の中心付近に位置する2級町道中町関根線に架かる橋長92.9mの桜大橋（橋長133m）に次ぐ長大橋であり、バス路線に該当し町中心部と町役場を結ぶ町道に位置するため重要度は高いと考え、管理区分を[A]（予防保全型）から原則架け替えをしない本格予防保全型[S]に変更しました。



起点側



橋梁左側

10. 鶴鶴大橋
プレテンT桁橋
橋長: 92.91m、4径間
1989年竣工 (34年経過)
判定区分: [II]
2級町道中町関根線
バス路線
管理区分[A]

3.しめ橋、5.諸沢橋、25.根小屋橋は管理区分[B]（事後保全型）の橋梁となります。しめ橋及び根小屋橋は町内から県道いわき浪江線に通じる1級町道門口赤木線に架かっており、また、諸沢橋は夜ノ森地区と本岡地区を結ぶ1級町道宮の原岩井戸線に架かっており、いずれも利用者は多く重要度が高いと考え、管理区分[A]の予防保全型に変更しました。



起点側
3.しめ橋 鋼H桁橋
 橋長: 21.97m、1径間
 1978年竣工(45年経過)
 判定区分: [II]
 1級町道門口赤木線
 管理区分[B]



起点側
25.根小屋橋 RC中実床版橋
 橋長: 8.60m、1径間
 1977年竣工(46年経過)
 判定区分: [II]
 1級町道門口赤木線
 管理区分[B]



起点側
5.諸沢橋 鋼H桁橋
 橋長: 44.95m、2径間
 1973年竣工(50年経過)
 判定区分: [II]
 1級町道宮の原岩井戸線
 管理区分[B]

7) 撤去・集約化、費用縮減に関する計画について

今後の維持管理費の抑制のため、富岡町の管理する橋梁について、現在の利用状況や迂回路の有無、損傷度、維持管理費用等の様々な状況を勘案し、周辺住民と調整しながら補修や撤去・集約化、ポックスカルバート（溝橋の定義外）への架け替えによる管理外化等、あらゆる手法を視野に入れ検討していきます。

短期的目標としては、令和17年までに最大3橋の撤去・集約化を検討し、480万円のコスト削減を目指します。

8) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)

(・構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)

(・対策内容、対策の着手・完了予定年度)

(・対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めています。

●活用促進技術に指定されている新技術の例

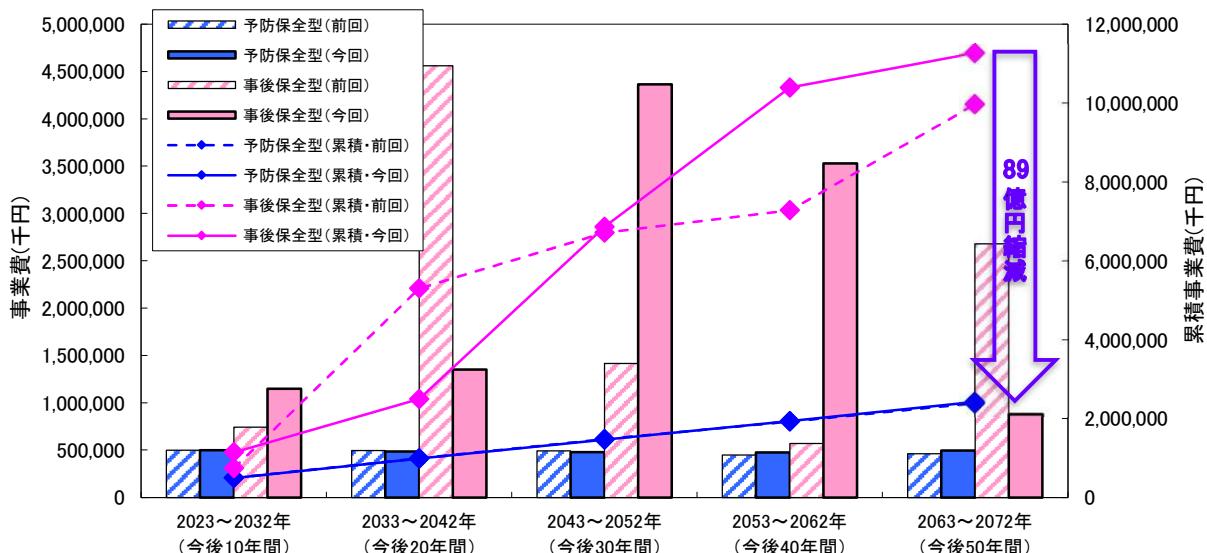
- ・鋼部材の塗装（錆転換型防食塗装）。
- ・コンクリート部材の補修（断面修復工、表面含浸工）。
- ・伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

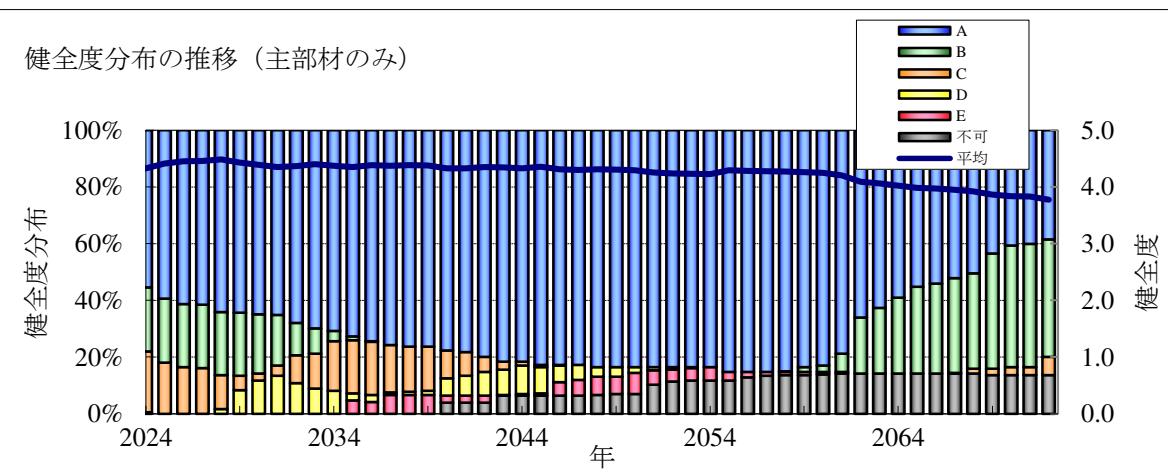
6. 長寿命化修繕計画による効果

富岡町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する75橋について、年間の予算制約額を0.50億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型（対症療法型）が113億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が24億円となり、コスト縮減効果は89億円（79%減）となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することができとなり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
富岡町 都市整備課 tel:0240-22-9008

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.50億円

凡例： ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										概算工事費
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
満開橋	1級	北郷会沢線	55.30	1992	32	R2	III		←→ 主部材:断面修復工	点検					点検			19,517
第1王塚橋	1級	都市計画4号線	3.75	1980	44	R2	III		←→ 床版:床版防水&ひびわれ補修	点検					点検			10,097
第3王塚橋	その他	王原原線	2.45	1993	31	R2	III		←→ 主部材:更新(BOX)	点検								15,244
大平橋	その他	大菅石名坂線	13.05	1985	39	R3	III		←→ 主部材:断面修復	点検					点検			14,367
第1夜の森橋	その他	岡内区画街路13号線	2.50	1975	49	R2	III		←→ 床版:更新(BOX)	点検								6,201
第4夜の森橋	その他	岡内区画街路39号線	2.37	1991	33	R2	III		←→ 床版:断面修復	点検				点検				4,651
鶴鶴大橋	2級	中町閑根線	92.91	1989	35	R1	II	点検		←→ 床版:ひび割れ補修等	点検							78,131
桜大橋	1級	北郷会沢線	133.00	1991	33	R1	II	点検		点検					点検			165,184
躊躇橋	1級	都市計画4号線	36.90	1967	57	R1	II	点検		点検					点検			
清水橋	その他	清水赤木線	74.44	2002	22	R3	II			点検					点検			
諸沢橋	1級	宮の原岩井戸線	44.95	1973	51	R1	II	点検	←→ 主部材:塗装等			点検						12,430
しめ橋	1級	門口赤木線	21.97	1978	46	R1	II	点検	←→ 主部材:足場等			点検						22,538
根小屋橋	1級	門口赤木線	8.60	1977	47	R2	II		点検	←→ 床版:ひび割れ補修等等				点検				5,115
第3仲谷地橋	1級	夜の森仲谷地橋	2.70	1980	44	R2	II	←→ 橋台:ひび割れ補修等						点検				609
留立橋	1級	門口赤木線	12.54	1983	41	R2	II		点検					点検				
第1家老橋	その他	茂手木1号線	9.25	1984	40	R2	II		点検					点検				
第5夜の森橋	1級	宮の原小良ヶ浜線	2.76	1990	34	R2	II		点検					点検				
第2六反田橋	その他	六反田線	12.24	1984	40	R2	II		←→ 舗装:打換					点検				867
呼岩橋	その他	岩井戸沼名子線	24.50	1986	38	R2	II		点検					点検				
第1日向橋	2級	本町浦戸線	2.37	1987	37	R2	II		点検		←→ 床版:断面修復等			点検				2,867
申田橋	その他	渥沢申田線	15.09	1979	45	R2	II		点検	←→ 高欄:取替(左側)等				点検				7,755
沢山橋	その他	杉内大木戸川原線	7.35	1984	40	R2	II		点検					点検				
第3宮の原橋	1級	宮の原岩井戸線	2.60	1993	31	R2	II		点検			←→ 橋台:断面修復等						2,639
杉内橋	その他	杉内大木戸川原線	5.13	1980	44	R2	II		点検		←→ 橋台:断面修復等			点検				2,478
沼名子橋	2級	閑根沼名子線	10.54	1982	42	R2	II		点検					点検				
第2本町橋	2級	本町浦戸線	2.30	1987	37	R2	II		点検				←→ 橋台:断面修復等					2,093
ふれあい橋	その他	桜王塚線	19.00	1998	26	R1	II		点検				点検			橋台:断面修復等		25,790
川原橋	その他	毛萱太田線	25.70	1987	37	R1	II		点検			←→ 主部材:塗装等						14,120
反町橋	その他	釜田反町2号線	3.20	2008	16	R2	II		点検					点検				
第2小浜橋	その他	釜田反町1号線	2.46	1975	49	R2	II	←→ 地覆:打換等	点検					点検				1,360
第2夜の森橋	その他	岡内区画街路28号線	2.80	1980	44	R2	II	←→ 舗装:打換	点検					点検				128
第3あせみ沢橋	その他	宮の原田の口線	4.86	1983	41	R2	II		点検					点検				
第2新田橋	その他	新田夜の森線	2.76	1998	26	R2	II		点検					点検				
第2田の口橋	その他	諸沢田の口線	2.90	1998	26	R2	II		点検					点検				
第4仲谷地橋	その他	清水前宮の原線	2.50	1998	26	R2	II		点検					点検				
第1宮の原橋	その他	清水前宮の原線	3.48	1998	26	R2	II		点検					点検				
第2王塚橋	その他	小森1号線	2.08	1984	40	R2	II		点検					点検				
第2日向橋	その他	本町線	4.75	1965	59	R2	II		点検					点検				
仏浜橋	その他	仏浜毛萱線	2.02	1975	49	R2	II		点検					点検				
第3本町橋	その他	本町線	4.22	1965	59	R2	II		点検					点検				
第3夜の森橋	その他	岡内区画街路33号線	2.40	1975	49	R2	II	←→ 舗装:打換	点検					点検				192
第2躊躇橋	1級	夜の森仲谷地橋	21.00	1986	38	R1	I	点検						点検				
本町赤木橋	1級	門口赤木線	57.82	2002	22	R3	I		点検					点検				

年間予算額：0.50億円

凡例： ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										概算工事費	
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
清水岩井戸橋	1級	町道停車場岩井戸線	65.54	2002	22	R3	I				点検					点検			
汐橋	その他	曲田都市計画街路4号線	94.00	2021	3	R4	I				点検					点検			
上郡橋	1級	町道閑名古滝の沢線	44.00	2002	22	R3	I				点検					点検			
第三大菅こ線道水路橋	1級	都市計画4号線	36.80	1967	57	R1	I		点検				点検			橋台:ひび割れ補修等		1,706	
夜ノ森駅東西自由通路	その他	夜ノ森駅東西自由通路線	36.15	2020	4	R4	I				点検					点検			
第2仲谷地橋	1級	夜の森仲谷地橋	2.35	1980	44	R2	I			点検					点検				
大木戸川原橋	その他	大石原大木戸川原線	36.00	1971	53	R2	I			点検					点検				
第1岡内橋	その他	岡内区画街路1号線	3.85	1975	49	R2	I	地覆:打換等	点検						点検			2,345	
第2岩井戸橋	2級	岩井戸線	4.60	1988	36	R2	I		点検						点検				
荻橋	1級	滝川荻線	35.50	2003	21	R1	I		点検						点検				
平道地橋	その他	平道地線	26.60	1972	52	R2	I		点検						点検				
上本町橋	その他	上本町沼名子線	49.75	1985	39	R3	I		伸縮装置:点検	点検	取替(始端側)等					点検		23,806	
赤木橋	その他	赤木線	10.00	1962	62	R2	I								点検				
関根橋	1級	関根小浜線	11.66	1984	40	R2	I		点検						点検	排水施設:取替(排水管)		1,032	
田の口沢橋	その他	上本町沼名子線	5.50	1992	32	R3	I		点検						点検				
関根歩道橋	1級	関根小浜線	17.20	2003	21	R1	I		点検						点検				
田の口橋	その他	宮の原田の口線	37.55	1972	52	R2	I		点検						点検				
第4宮の原橋	2級	関根沼名子線	5.95	1982	42	R2	I		点検						点検			2,364	
坂下橋	その他	夜の森大平線	13.30	1986	38	R3	I		点検						点検				
第2平道地橋	その他	平道地線	6.27	1975	49	R2	I		点検						点検				
滝ノ沢橋	その他	滝ノ沢1号線	10.47	1977	47	R2	I		点検						点検				
第2宮の原橋	その他	宮の原線	6.85	1979	45	R2	I		点検						点検				
第2杉内橋	その他	滝川ダム線	3.56	1980	44	R2	I		点検						点検				
第3杉内橋	その他	杉内茂手木線	2.15	1980	44	R2	I		点検						点検				
第2岡内橋	その他	遅沢申田線	3.83	1975	49	R2	I		点検	地覆:打換等					点検			1,818	
岩井戸橋	2級	毛萱太田線	25.00	1969	55	R2	I		点検						点検				
新町橋	1級	都市計画4号線	3.70	2018	6	R2	I		点検						点検				
大原橋	その他	大菅石名坂線	17.35	1967	57	R2	I		点検						点検				
後作橋	その他	杉内後作線	5.30	1978	46	R2	I		点検						点検				
バチサク橋	その他	毛萱太田線	13.00	2021	3	R5	I		点検						点検				
第1茂手木橋	その他	杉内茂手木線	2.45	1980	44	R2	I		点検						点検				
第1本町橋	その他	岡内区画街路6号線	2.53	2018	6	R2	I		点検						点検				
合 計 (千円)										49,492	49,892	49,657	49,962	49,998	49,853	49,306	49,952	49,336	447,448

優先順位一覧 制約0.50億円

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標						総合評価指標				部材健全度		優先順位指標(A+100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳								余寿命(年)	今後50年補修費用			橋梁名				
		橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計(A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別	健全度ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート特異形式	評価③	今後5年(百万円)	残り(百万円)	合計(百万円)						
0007	満開橋	55.30	3	PC橋	プレテンT桁	7.50	1992	31	-	1級	0	10	10	10	0	10	40	20.0	40.0	85.0	48.3	主部材	D(4)	91.7	1	5	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	19.5	142.1	161.6	満開橋
0030	第1王塚橋	3.75	1	RC橋	RC 中実床版	6.60	1980	43	-	1級	0	0	10	10	0	0	20	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	80.0	2	7	B	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	50以上	10.1	4.1	第1王塚橋	
0054	第3王塚橋	2.45	2	RC橋	RC 中実床版	6.80	1993	30	-	その他	0	0	0	0	10	0	10	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	70.0	3	7	B	-	-	○	1	B	-	-	○	-	C	29	15.2	0.0	第3王塚橋	
0065	大平橋	13.05	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1985	38	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	25.0	70.0	85.0	60.0	主部材	D(4)	45.0	4	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	21	14.4	0.0	大平橋	
0050	第1夜の森橋	2.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1975	48	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	65.0	5	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	6.2	0.0	第1夜の森橋	
0053	第4夜の森橋	2.37	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.65	1991	32	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	65.0	6	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	4.7	0.0	第4夜の森橋	
0010	鶴鳴大橋	92.91	4	PC橋	プレテンT桁	7.00	1989	34	-	2級	0	10	10	5	10	0	35	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	98.3	7	9	S	-	○	2	A	-	-	-	-	B	-	78.1	0.0	78.1	鶴鳴大橋	
0006	桜大橋	133.00	4	PC橋	ボステンT桁	7.50	1991	32	-	1級	0	15	10	10	0	0	35	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	98.3	8	9	S	-	○	1	B	-	-	-	-	B	-	0.0	783.3	783.3	桜大橋	
0001	躑躅橋	36.90	3	PC橋	PC 床版橋その他	7.00	1967	56	-	1級	0	5	10	10	10	15	50	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	91.7	9	9	S	-	○	2	A	○	S	-	-	B	-	0.0	22.6	22.6	躑躅橋	
0024	清水橋	74.44	3	PC橋	ラーメン橋	7.50	2002	21	-	その他	0	10	10	0	0	10	30	45.0	80.0	45.0	56.7	床版	C(3)	73.3	10	9	S	-	-	0	C	○	S	-	-	B	-	0.0	34.7	34.7	清水橋	
0005	諸沢橋	44.95	2	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	3.00	1973	50	-	1級	0	5	5	10	0	0	20	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	86.7	11	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	49	12.4	17.2	諸沢橋	
0003	しめ橋	21.97	1	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	7.00	1978	45	-	1級	0	5	10	10	0	0	25	45.0	80.0	45.0	56.7	床版	C(3)	68.3	12	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	22.5	0.0	22.5	
0025	根小屋橋	8.60	2	RC橋	RC 中実床版	6.00	1977	46	-	1級	0	0	10	0	0	0	10	50.0	40.0	67.0	主部材	C(3)	63.3	13	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	5.1	0.0	5.1		
0029	第3仲谷地橋	2.70	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1980	43	-	1級	0	0	5	10	10	0	25	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	60.0	14	10	A	-	○	2	A	-	-	○	-	C	50以上	0.6	11.0	第3仲谷地橋		
0026	留立橋	12.54	1	PC橋	プレテン床版	8.00	1983	40	-	1級	0	0	10	10	0	0	20	30.0	50.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	15	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	19	0.0	158.2	158.2	留立橋	
0060	第1家老橋	9.25	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1984	39	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	71.7	16	11	B	-	-	0	C	-	-	-	-	B	20	0.0	7.9	7.9	第1家老橋	
0034	第5夜の森橋	2.76	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	1990	33	-	1級	0	0	10	10	0	0	20	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	70.0	17	11	B	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	26	0.0	10.3	10.3	第5夜の森橋
0040	第2六反田橋	12.24	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.70	1984	39	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	61.7	18	11	B	-	-	0	C	-	-	-	-	B	20	0.9	13.3	14.1	第2六反田橋	
0016	呼岩橋	24.50	1	PC橋	ボステンT桁	7.50	1986	37	-	その他	0	5	10	0	0	0	15	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	61.7	19	11	B	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	39.5	39.5	呼岩橋	
0036	第1日向橋	2.37	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.33	1987	36	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	60.0	20	11	B	-	○	-	1	B	-	-	○	-	C	23	2.9	0.0	2.9	第1日向橋
0014																																										

改訂履歴

- ・令和5年 3月 策定
- ・令和6年11月 改訂
- ・令和7年 3月 改訂
- ・令和7年 8月 改訂
- ・令和7年12月 改訂